



米の山盆踊り大会（8月24日）での署名活動

## 看護師増員に向けて

全国的に看護師不足が叫ばれています。特に急性期の病院では医療事故と隣り合わせの状況や、在院日数短縮による業務の煩雑さ、たくさんの医療機器を駆使しなければならぬ大変さ等、幾多の困難があります。「もっと患者さんのそばにいたい。」「いい看護をしたい」と思っている看護師は大勢います。もっとフツウに働くため、安全安心の医療のために看護師を増やして欲しいと看護師自身が立ち上がり、いま、全国的に白衣のパレードや署名活動を繰り返しています。

この大きなうねりを受けてまだ不十分な内容ではありませんが、今年4月から診療報酬が引き下げられる中で、看護については急性期病院で体制を厚くする方向が示されました。

米の山病院においても、新設された7対1看護基準（以前で言えば1・4対1看護）を取得する予定です。目的の第一に医療看護の質向上を図ること、第二に看護業務改善を図ること、第三に看護師のやりがいをもとめること、第四に経営改善です。この新しい基準を取得するためには新たに看護師が10名以上必要です。早急に看護師を確保し7対1看護基準を取得したいと考えています。いま、病院では、旺盛に紹介運動を行っています。夜勤ができる方で40歳位までの看護師免許をお持ちの方、ぜひご紹介ください。ブランクがある方も親切丁寧に指導・援助を行います。どうぞよろしくお願いいたします。

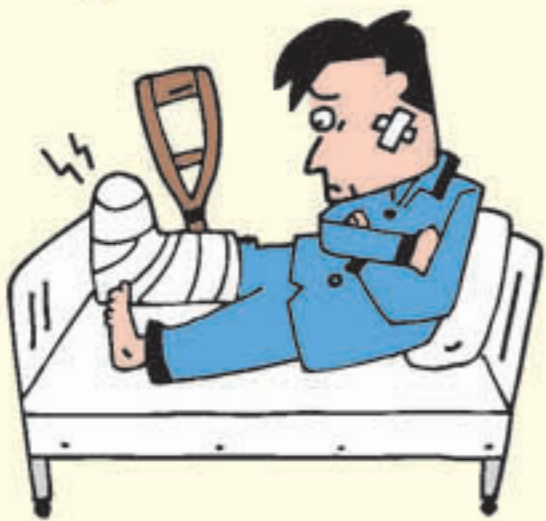
# 医療改善による困難事例について

ある日の夜間診療中の出来事です。Aさんが夜間外来を受診されました。診察の結果、足関節を骨折されており医師からは入院の必要があると説明が行われましたが、どうしても入院は出来ないかと拒否されました。事情を尋ねると、実は保険加入されていないという事がわかりました。結局この日はギプス固定のみで帰宅されました。その後、医師及び看護師・ソーシャルワーカーで検討し早速、自宅訪問を行い、近所に住む姉へ連絡を取り、市役所で国民健康保険加入および生活保護申請手続きを行い、A氏の入院治療が可能となりました。

A氏は今年3月に務めていた会社を退職され、その後正規雇用の職を探されていましたが、難しい社会情勢の中、就職先を見つける事は難しく、わずかな貯蓄を切り崩しながらぎりぎり

の生活をされていきました。退職後は本来であれば国保加入手続きを行わなければならなかったのですが、「保険税を支払う事ができないので加入手続きを行う事ができなかった」と申し訳なさそうに話されました。こうした問題はA氏だけのことではありません。私達は、生活のため国保税支払いが出来ず、正規の保険証がない方や病院にかかりたくても受診を我慢されている方を数多く見てきています。

「小泉構造改革」がもたらしたものは、格差と貧困のひろがりであり、私たちが、目指すものは、「誰もが安心して医療・介護が受けられる社会」をつくることであり、つねに人権のアンテナの感度を高め、たたかいた対応を行っていきたいと思います。



## 私の戦争体験



(当時の救護袋を紹介する笠原美代さん)

院の職員、患者さんを合わせて79名が参加しました。

笠原さんは、青春真っ只中でしたが、終戦の年に召集され、諫早海軍病院に勤務している時に、長崎原爆投下に遭遇しました。その時、諫早で被爆者の救護活動に従事していました。

「長崎から多くの被爆者が逃げてきました。全ての被爆者が全身に火傷を負い、ガラスが突き刺さっていました。救護隊は、粗末な消毒薬を塗ってやることしかできませんでした。日を追うにつれ、被爆者の体につじがわき、道端や、病院の廊下には、屍体がいくつも転がっていました。霊安室には、屍体如山積み込まれました。諫早海軍病院だけでも、死者は5000人を超えました。」笠原さんの話に、多くの人が、固唾を吞んで聞き入っていました。原爆の悲惨さ、平和の尊さを考えさせられた集会でした。

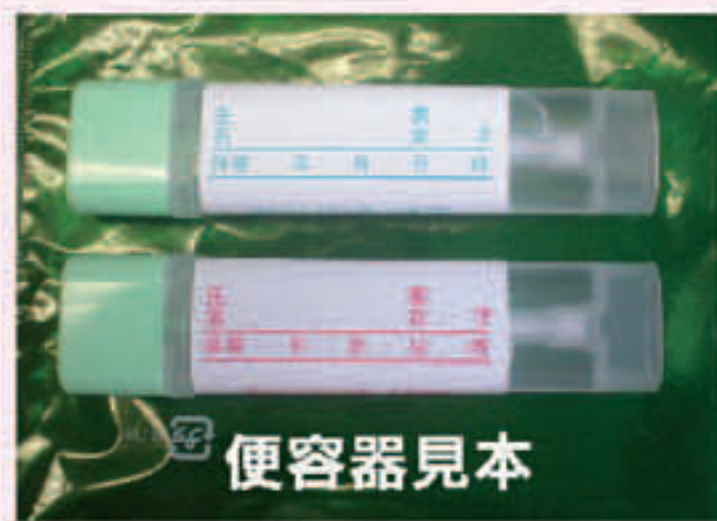
今年は、広島・長崎に原爆が投下されて61年になります。あの日も今日と同じように、暑い夏でした。今年のこの時期には、全国各地で「平和の集い」が開催されています。原爆記念日を目前にして、米の山病院5病棟では、8月2日に笠原美代さんを講師に、「原爆体験を聞く会」を開催しました。会場には、病

# 友の会に入会し、大腸がん検診 (便潜血反応検査)をうけましょう!

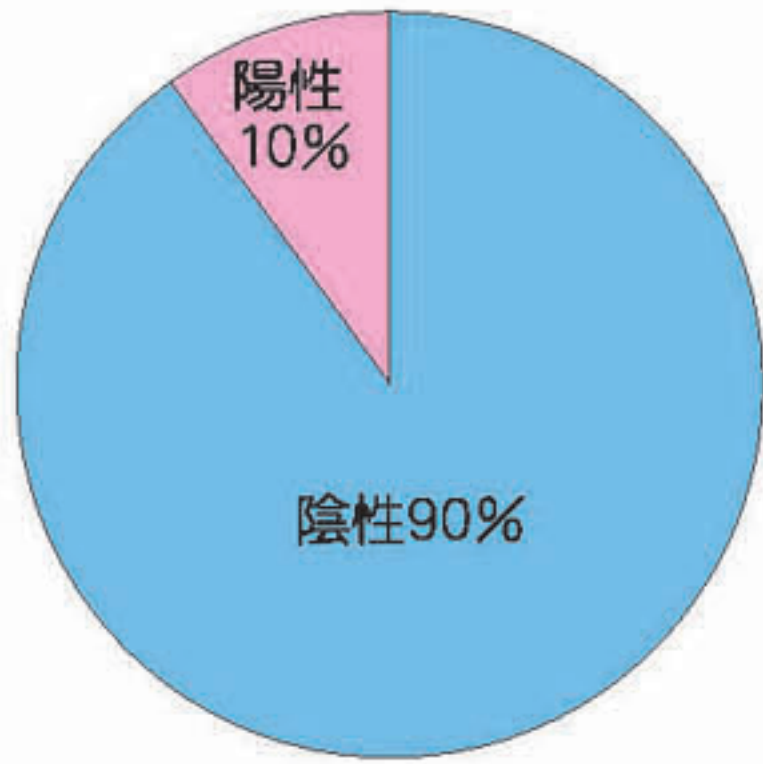
友の会が全額助成している大腸がん検診は、6月に実施している三池支部で次のような結果が出ました。

660件の呼びかけに対し、186件の便容器が回収され、そのうち18名が陽性(便潜血検査で異常)となりました。つまり10人に1人の割合で異常が見つかる結果となりました。大腸がんは、早期発見・早期治療をすれば、治る確率の高い疾患で

す。10月・11月は、共同組織強化月間と位置づけ、友の会員の皆様の健康を守る立場からこの活動をさらに推進していきます。この機会にぜひ、健康友の会に入会し、大腸がん検診をうけ、友の会会員の皆様、自らの健康管理を行っていきましよう。



## 検査結果



■ 陰性 (異常無し) ■ 陽性

構成比率

陰性	168人	90%
陽性	18人	10%
合計	186人	100%

186名中、18名が陽性でした。(陽性率は、約10%と高い比率となりました)

## 食中毒をおこさない為に



7月20日、全職員活動学習日に、大牟田保健所から講師をお招きし、「院内で食中毒をおこさない為に! さあ どうする」をテーマに講義をお願いしました。

職場から85名、市内3施設から13名参加し、食中毒がどのようにして起きてしまうのか、もし病院内で疑いが発生したら、どんなに大変なことなのか、医療者として基本的に注意すべきことが話されました。病院で集団発生が起きたら?と思うとゾッとします。「手を洗いなさい」「うがいをしなさい」という昔からの

おばあちゃんの教えが、病院内でも家庭でも、基本的な大切な感染予防対策であることがよくわかりました。

食品を扱う当院の栄養科では毎春このテーマで同じく保健所から来ていただき学習会をしています。今回、同じテーマで全職員に聞いてもらってよかった」と感想が話されました。他施設の方も「もっと詳しく聞きたかった」「今後も誘ってください」などの感想をいただき、これからも、地域の方と感染予防対策を考えたいと思います。



# 夏向きのおすすめ料理

ピリツとした辛味が食欲をそそる!

簡単!

## キムチの冷製パスタ



管理栄養士  
垣田 あゆみ



### 材料 (1人分)

- パスタ..... 80g
- キムチ..... 40g
- 麺つゆ..... 50cc
- 温泉卵..... 1コ
- 干切り野菜..... 適宜
- とうがらし..... 適宜
- ニンニクチップ..... 適宜

### 作り方

- 1) パスタは塩(スプーン1杯ぐらい)を加えた熱湯でゆでる。
- 2) ゆであがったら冷水で冷やす。
- 3) ボールにパスタを入れ、麺つゆをからめる。
- 4) ③のパスタにキムチを入れよくからめる。
- 5) からめたパスタを皿に盛り、温泉卵、干切り野菜、ニンニクチップ、とうがらしをのせる。



## クイズ 頭の体操

ある法則に基づくと漢字1文字になります。?に入る漢字は何でしょう。

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 構外→ <b>朴</b> | 特性→ <b>牲</b> | 新規→ <b>親</b> |
| 増殖→ <b>殖</b> | 体験→ <b>俟</b> | 極限→ <b>根</b> |
| 招待→ <b>持</b> | 湿地→ <b>?</b> |              |

No.16 (7月1日号)の答は、日本国憲法第9条第1項の「武力の行使」でした。

正解者は、井島英士様(大牟田市)、江口正裕様(高田町)の2名でした。正解者の方には、粗品を進呈いたします。

### 応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。〆切は2006年9月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。正解と当選者は次号に掲載します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

## 「唱歌を歌う会」開催

7月26日、友の会三池支部班長会は、5病棟で「唱歌を歌う会」を開催しました。

大牟田センター合唱団の浦田団長のアコーディオンにのり、下川支部長の指揮のもと、5病棟の入院患者さんと、看護師・リハビリスタッフが一緒に「ふるさと」「我は海の子」「赤とんぼ」など、懐かしい唱歌を大きな声で合唱しました。「茶つみ」を歌う時は、「八十八夜トントン」と手合わせをして楽しみました。参加した患者さんからは、感激のあまり、涙ぐむ方もおられました。

